

# 平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	手取川・梯川総合水防演習	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業		事業区分	体験活動等	

## 1. 事業目的

手取川・梯川流域を洪水による水害から守るため、水防技術の習得・錬磨、関係機関の連携を強化し、さらに住民、事業者等地域の力を結集して実践的な訓練による地域防災力の向上を目指すことにより、水防体制の一層の強化を図ることを目的とする。

## 2. 事業実施体制

主 催：川北町、石川県、国土交通省北陸地方整備局、  
手取川・梯川・石川海岸水防連絡会  
協 賛：全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、石川県治水協会、  
(公財)石川県消防協会、(一財)河川情報センター、(一社)北陸地域づくり協会  
後 援：全国・地方・業界紙、地元テレビ・ラジオ局 23社  
協 力：川北町教育委員会、川北町立橋・川北・中島 各小学校

## 3. 事業実施概要

テーマ：昭和9年大水害の記憶を繋ぎ逃げ遅れゼロを目指そう！

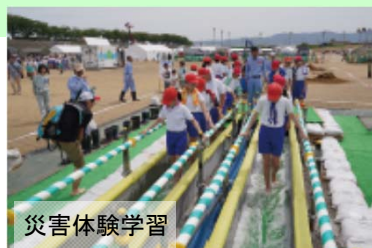
日 時：平成30年5月26日(土) 8:30～12:30

場 所：石川県能美郡川北町与九郎島地先(手取川右岸辰口橋下流河川敷)

内容(演習のポイント)：

- ・手取川・梯川それぞれの特性にあった実践的な水防工法の実施  
(木流し工、立籠工、月の輪工、シート張り工、積み土のう工、川倉工等)
- ・施設では守り切れない大規模水害を想定し、関係機関が一体となったタイムラインに基づく実践的訓練
- ・地域防災力向上のための地域住民、地域企業等の参加による実践的訓練
- ・近年の豪雨を踏まえ、洪水氾濫からの住民避難及び救難・救助訓練の実施
- ・「昭和9年大水害」の記憶を繋ぐための防災教育、水害記録の展示

参加者：約2,000人



災害体験学習

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

毎年、出水期を前に消防団はじめ水防関係機関や地域住民が参加のもと、北陸管内の直轄河川を持ち回りで開催している総合的な水防演習。手取川流域を襲った昭和9年大水害の記憶を繋ぐことをテーマとした開催であり、平成27年12月に策定された「水防災意識社会再構築ビジョン」を踏まえた各種訓練の実施を通じ、地域社会における水防の重要性への認識を高める絶好の機会となった。

関係10市町の消防団が参加し、さまざまな水防工法の訓練を通じて水防技術の向上・伝承・普及に成果が挙げられたほか、水防関連機関各々の技術力の向上や相互の連携強化を図ることができた。また、地域住民にとっても見学や体験学習への参加を通じ、水防活動の意義及び重要性について理解が深まり、総じて地域防災力の向上につながる事が期待できる。

オープニングセレモニー  
(石川県警察音楽隊)



開会式



水防工法  
(川倉工/木流し工  
/立て籠工)



炊き出し訓練



要配慮者避難